

(2023. .)

教科等別授業改善研修会

小・中学校 音楽



本日の内容

- 1 令和5年度学校教育の指針
～音楽科で学びを深める授業改善のポイント～
- 2 音楽科の授業改善のポイント設定の背景
- 3 授業改善のポイントを具現化するために
～本日の2つの授業を基に～

本日のまとめ

- 音楽を形づくっている要素を焦点化し、明確にして題材を構想する
- 言語活動と音楽活動とを往還させて、実感を伴った理解を促す

1 令和5年度 学校教育の指針について

音楽科で**学びを深める**授業改善のポイント

音や音楽によって喚起された自己のイメージや感情を手掛かりに、他者と協働する中で聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを考え、**音楽表現の工夫を様々に試したり、曲や演奏のよさや美しさを確かめながら音楽を聴き返したりする活動**を設定しましょう。

本日の授業では・・・

第一小学校

見つけた音楽の仕組みのよさや面白さを、表現したいイメージと結び付けて音や音楽で様々に試す



音や音楽で試す児童の姿
イメージが伝わる音や音楽を探る
→ 『よりよく伝わる表現』を検討

第一中学校

見つけた曲のよさや美しさを、もう一度音や音楽で聴き返して確かめる



音や音楽を聴き返す生徒の姿
自分が知覚・感受したことの強化・変化
→ 『聴き方』を更新

2 音楽科の授業改善のポイント設定の背景

I 令和5年度 学校教育の指針（音楽科）について

各教科等で**学びを深める**授業改善のポイント

音や音楽によって喚起された自己のイメージや感情を手掛かりに、他者と協働する中で聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを考え、**音楽表現の工夫を様々に試したり、曲や演奏のよさや美しさを確かめながら音楽を聴き返したりする活動**を設定しましょう。

【背景にあったこと】

言語活動がやや目的化し、音楽表現そのものを高めることや、音楽のよさ等を味わって聴くことが十分でない傾向が見られる。

【H27.8 中央教育審議会教育課程部会「論点整理」】

【現行学習指導要領では…】

例えば、表現の活動においては、表したい思いや意図を言葉で伝え合いながら、**実際に歌ったり演奏したりして音楽表現を高めていく楽しさを味わうようにすることが**考えられる。また、鑑賞の活動では、音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなどの様々な意見を共有した後、**視点をもって再度音楽を聴くことにより、音楽を味わって聴くようにすること**などが考えられる。

【小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編 p124】

小学校を例に… 音楽科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、**音楽的な見方・考え方**を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

(1) **曲想や音楽の構造などとの関わり**について理解するとともに、**表したい音楽表現**をするために必要な技能を身に付けるようにする。

知識及び技能

(中学校)※ **曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性**

(2) **音楽表現を工夫**することや、**音楽のよさや美しさを味わって聴く**ことができるようにする。

思考力・判断力・表現力

(3) **音楽活動の楽しさを体験**することを通して、**音楽を愛好する心情と音楽に対する感性**を育むとともに、**音楽に親しむ態度**を養い、**豊かな情操**を培う。

(中学校)※ **音楽に対する感性を豊かにする**

学びに向かう力・人間性

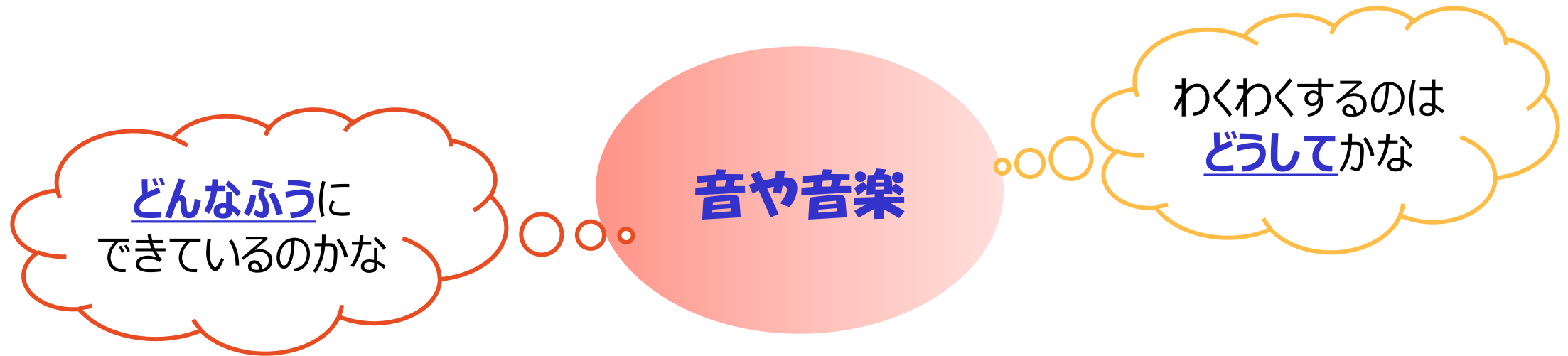
音楽的な見方・考え方とは

音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連付けること。【小】

音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること。
【中】

音楽的な見方・考え方とは

「音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの
視点で捉え」 → 音や音楽を捉える「視点」



「どんなふう？」「なぜ？」「どうして？」を明らかにしていく過程を経ることで
捉えることができる

音楽を形づくっている要素とその働き

3 授業改善のポイントを具現化するために

本日のまとめ

- 音楽を形づくっている要素を焦点化し、明確にして題材を構想する
- 言語活動と音楽活動とを往還させて、実感を伴った理解を促す

- 「音楽を形づくっている要素」を明確にした
題材構想について
- 音楽科の特性を生かした言語活動について

3 授業改善のポイントを具現化するために

本日のまとめ

- 音楽を形づくっている要素を焦点化し、明確にして題材を構想する
- 言語活動と音楽活動とを往還させて、実感を伴った理解を促す



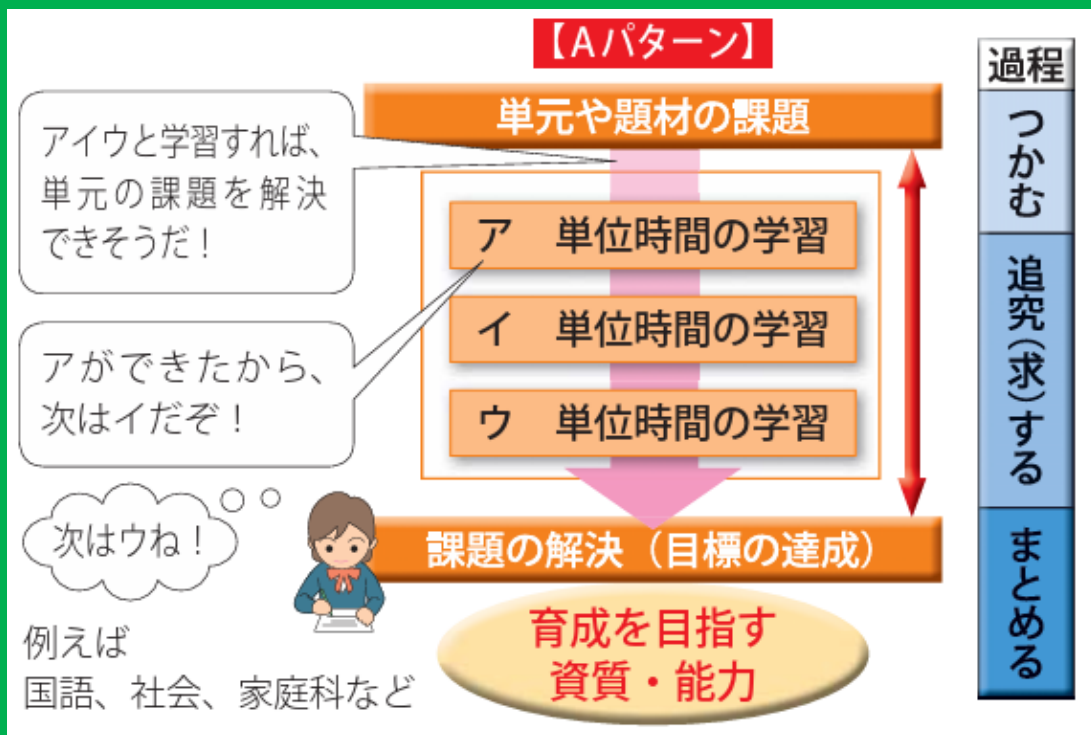
「音楽を形づくっている要素」を明確にした
題材構想について



音楽科の特性を生かした言語活動について

音楽科の題材のつくり方

「はばたくぐんまの指導プランⅡ」の題材の課題と単位時間の関係



音楽的な見方・考え方とは

「音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え」 → 音や音楽を捉える「視点」



音楽を形づくっている要素とその働き

「音楽を形づくっている要素」を明確にした題材構想について、はばたくぐんまの指導プランⅡの各過程と照らし合わせて具体的に確認してみましょう。

音楽科の「つかむ」過程

題材の学習過程

1 題材の課題を把握する。

- ◇音や音楽と出会う。
- ◇出会った音や音楽について、その雰囲気と音楽を形づくっている要素とを結び付けて聴き取る。
- ◇聴き取ったことを基に、どのような音楽表現にしたいかについてイメージをもつ。
- ◇題材の課題をつかむ。

【題材の課題】

〈題材で取り組む大まかな音楽表現〉

- ◇題材の課題解決に向けての大まかな見通しをもつ。
- ◇音や音楽の雰囲気を醸し出す理由を、音楽を形づくっている要素等に注目して探る。

2 音楽を形づくっている要素と思いや意図とを関連付けながら表現を探る。

単位時間

【めあてをつかむ】

- ◇表したい思いや意図をもつ。

繰り返す → 更新する

- ◇音楽を形づくっている要素を手がかりに、表現を試しながら工夫する。

更新する

- ◇表現の高まりを共有・共感し、その後の表現に生かす。

【まとめ・振り返りをする】

単位時間

単位時間

単位時間

3 発表等を通して表現の高まりを実感し、題材の学びを振り返る

- ◇グループごとの発表や、全体でまとめの演奏等を行う。
- ◇題材の学びを振り返る。

題材全体の振り返り



「つかむ」過程の具体的な学習活動は、

○出会った音や音楽について、感じ取ったことと音楽を形づくっている要素とを結び付ける

○音や音楽から感じ取ったことの原因について音楽を形づくっている要素に着目して探る
(題材の課題の設定)

題材の課題

問い

音楽的な見方・考え方とは

「音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え」 → 音や音楽を捉える「視点」

どんなふう
できているのかな

音や音楽

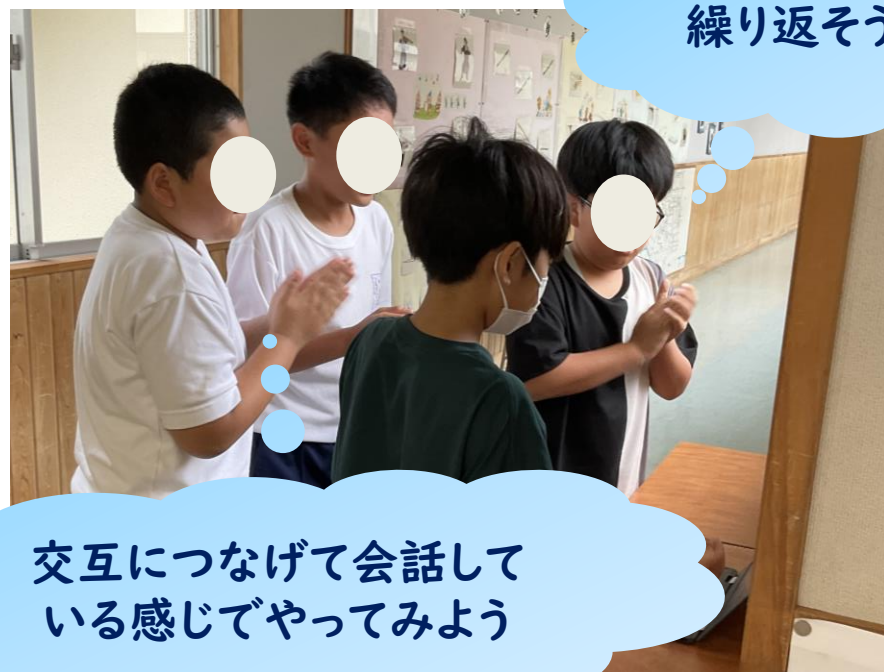
わくわくするのは
どうしてかな

「どんなふう？」「なぜ？」「どうして？」を明らかにしていく過程を経ることで捉えることができる

音楽を形づくっている要素とその働き

本日の授業では・・・

第一小学校



おもしろいね。
繰り返そうよ

交互につなげて会話して
いる感じでやってみよう

音楽の仕組み

第一中学校



さっきより音も
大きいね

登場人物によって声
の様子がちがうよ

強弱、音色

第一小学校の「つかむ」

本時の流れ

1 本時のめあてをつかむ。

- 音や音楽に出会わせ、題材で何を学ぶかをつかむための動機付けを行う。
- 児童生徒がはじめに捉えたイメージや感情を問いかける。
- 本時の大まかな活動の流れや、手がかりとなる音楽を形づくっている要素等を児童生徒につかませるめあてを設定する。

【めあて】

2 音や音楽の雰囲気を感じ取り、雰囲気が醸し出す理由を探りながら鑑賞する。

- 児童生徒の気付きを手がかりにして、聴き取ったこと（知覚）と感じ取ったこと（感受）とを教師が音楽を形づくっている要素を基に問いかけながら結び付ける。

3 題材の課題をつかむ

- 各自が感じ取ったよさや面白さを音楽を形づくっている要素と関連付け、題材で追求していくことを板書等で焦点化する。

【題材の課題】

〈題材で取り組む大まかな音楽表現〉

- ※1 単位時間の中で「追求する」過程へ進むような場合は、「1. 本時のめあてをつかむ」段階で課題を提示することもある。
- 児童生徒の気付きと関連付けながら、課題解決に向けての大まかな見通しを確認させる。

4 学習のまとめをし、学びを振り返る。

- 音や音楽のよさや面白さと、音楽を形づくっている要素との関わりを確認し、言葉や板書でまとめる。

学習のまとめ

- 鑑賞して気付いたことや感じたこと、分かったことや「題材で何を学びたいか」を問いかける。

振り返り

6種類のリズムとの出会い

リズム遊び（即興的につなげたり、重ねたりする）→ **動機付け**



みんなでリズムをつなげたり重ねたりすると新しい音楽ができておもしろいな。

雰囲気の違うリズムを交互につなげたら、呼びかけ合っているみたいだね。



音楽の仕組みを用いてリズムをつなげたり重ねたりする活動



リズムをだんだん増やして重ねると、どんな感じがしますか。

にぎやかな感じがするのは、だんだん重ねる音を増やしたからなのだな。



【題材の課題に向かう児童の意識】

音楽の仕組みを用いてリズムをつなげたり重ねたりして、自分たちのリズムアンサンブルをつくるんだな。→ **題材の学習の見通し**



音楽の仕組みを用いてリズムをつなげたり重ねたりすると、いろいろなイメージを表すことができることが分かったよ。どんなイメージの音楽をつくらうかな。楽しみだな。→ **次時の学習への期待感**

第一中学校の「つかむ」

本時の流れ

1 本時のめあてをつかむ。

- 音や音楽に出会わせ、題材で何を学ぶかをつかむための動機付けを行う。
- 児童生徒がはじめに捉えたイメージや感情を問いかける。
- 本時の大まかな活動の流れや、手がかりとなる音楽を形づくっている要素等を児童生徒につかませるめあてを設定する。

【めあて】

2 音や音楽の雰囲気を感じ取り、雰囲気が醸し出す理由を探りながら鑑賞する。

- 児童生徒の気付きを手がかりにして、聴き取ったこと（知覚）と感じ取ったこと（感受）とを教師が音楽を形づくっている要素を基に問いかけながら結び付ける。

3 題材の課題をつかむ

- 各自が感じ取ったよさや面白さを音楽を形づくっている要素と関連付け、題材で追求していくことを板書等で焦点化する。

【題材の課題】

〈題材で取り組む大まかな音楽表現〉

- ※1 単位時間の中で「追求する」過程へ進むような場合は、「1. 本時のめあてをつかむ」段階で課題を提示することもある。
- 児童生徒の気付きと関連付けながら、課題解決に向けての大まかな見通しを確認させる。

4 学習のまとめをし、学びを振り返る。

- 音や音楽のよさや面白さと、音楽を形づくっている要素との関わりを確認し、言葉や板書でまとめる。

学習のまとめ

- 鑑賞して気付いたことや感じたこと、分かったことや「題材で何を学びたいか」を問いかける。

振り返り

音楽との出会い

「どんな雰囲気（イメージ）を感じたか」 → **聴く視点**



全体的に暗くて怖い感じだな。

何かに追いかけているような感じがするね。



教師が問いかけながら、知覚と感受を結び付ける活動



恐ろしい感じをもたらす理由は、音楽のどこにありそうですねか。

低い声でだんだん大きく歌っているところは特に恐ろしさを感じるな。



【題材の課題に向かう生徒の意識】

作曲者は**強弱**や**音色**など音楽に工夫をすることで、詩が表す様々な場面を伝えているな。友達はどう考えたかな。 → **題材の学習の見通し**



作曲者は、強弱や発声の仕方（音色）に変化を付けることでいろいろな場面を伝えようとしていることが分かった。その他にも工夫がないか、もっと詳しく知りたいな。 → **次時の学習への期待感**

音楽科の「追求する」過程

題材の学習過程

1 題材の課題を把握する。

- ◇音や音楽と出会う。
- ◇出会った音や音楽について、その雰囲気と音楽を形づくっている要素とを結び付けて聴き取る。
- ◇聴き取ったことを基に、どのような音楽表現にしたいかについてイメージをもつ。
- ◇題材の課題をつかむ。

【題材の課題】

〈題材で取り組む大まかな音楽表現〉

- ◇題材の課題解決に向けての大まかな見通しをもつ。
- ◇音や音楽の雰囲気を醸し出す理由を、音楽を形づくっている要素等に注目して探る。

2 音楽を形づくっている要素と思いや意図とを関連付けながら表現を探る。

単位時間

【めあてをつかむ】

- ◇表したい思いや意図をもつ。

繰り返す 更新する

- ◇音楽を形づくっている要素を手がかりに、表現を試しながら工夫する。

更新する

- ◇表現の高まりを共有・共感し、その後の表現に生かす。

【まとめ・振り返りをする】

単位時間

単位時間

単位時間

3 発表等を通して表現の高まりを実感し、題材の学びを振り返る

- ◇グループごとの発表や、全体でまとめの演奏等を行う。
- ◇題材の学びを振り返る。

題材全体の振り返り



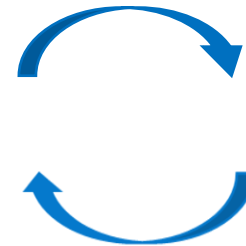
「追求する」過程の具体的な学習活動は、

○表したい思いや意図をもたせ、**音楽を形づくっている要素**と関連付けながら表現を工夫する（A 表現）

○**聴き取ったこと（知覚）**と**感じ取ったこと（感受）**を結び付けながら、聴き深める（B 鑑賞）

※A 表現を例に

表現を試行する



試行した表現の高まりを共有・共感する

つかむ

追求する

まとめる

音楽科の「追求する」

本時の流れ

1 学習に臨む雰囲気をつくる。

- 本時の学習内容とつながるリズム遊びやハーモニー遊び等の常時活動や、既習曲の演奏等を行わせる。

2 本時のめあてをつかむ。

- 前時の学びを紹介したり演奏させたりして、音楽を形づくっている要素と関連付けながらめあてを設定する。

【めあて】

3 思いや意図に合った表現をするために、音楽を形づくっている要素と関連付けながら表現を探る。

- 表したい思いや意図を問いかける。
- 思いや意図を基に、音や音楽、言葉を通して伝え合い、様々な表現を試させる。その際、音楽を形づくっている要素とその働きから、音楽の雰囲気が醸し出される理由を問いかける。
- 「なぜそのように工夫したのか（感じたのか）」など、教師が問いかけながら、児童生徒が聴き取ったこと（知覚）と感じ取ったこと（感受）とを結び付け、児童生徒に意識化させていく。
- 友達の表現の工夫を認め合ったり、鑑賞曲を聴き直したりする場を設定し、児童生徒が表現を工夫する際の手がかりにする。

4 学習のまとめをし、学びを振り返る。

- 表現のよさや面白さを、音楽を形づくっている要素と関連付けて確認し、言葉や板書でまとめる。

学習のまとめ

- 表現を試してみて、気付いたことや感じたこと、分かったことを基に、自己の変容を振り返らせる。

振り返り



「学習に臨む雰囲気」のつくり方

○前時の学習内容を、音や音楽を通して振り返る活動を設定しましょう

※本時の学習内容とつながる「常時活動」の考え方

- ・ 題材で扱う「音楽を形づくっている要素」に着目する
- ・ 思いや意図を表現するために必要な技能を、帯の活動で少しずつ身に付ける
→ 身に付けさせたい力を明確にする

音楽科の「まとめる」過程

題材の学習過程

1 題材の課題を把握する。

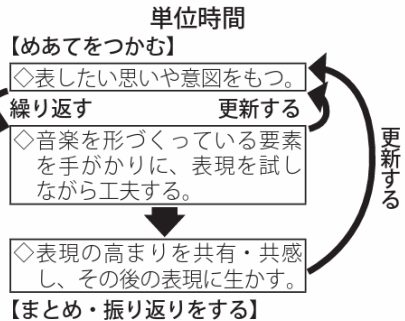
- ◇音や音楽と出会う。
- ◇出会った音や音楽について、その雰囲気と音楽を形づくっている要素とを結び付けて聴き取る。
- ◇聴き取ったことを基に、どのような音楽表現にしたいかについてイメージをもつ。
- ◇題材の課題をつかむ。

【題材の課題】

〈題材で取り組む大まかな音楽表現〉

- ◇題材の課題解決に向けての大まかな見通しをもつ。
- ◇音や音楽の雰囲気や醸し出す理由を、音楽を形づくっている要素等に注目して探る。

2 音楽を形づくっている要素と思いや意図とを関連付けながら表現を探る。



単位時間

単位時間

単位時間

3 発表等を通して表現の高まりを実感し、題材の学びを振り返る

- ◇グループごとの発表や、全体でまとめの演奏等を行う。
- ◇題材の学びを振り返る。

題材全体の振り返り



「まとめる」過程の具体的な学習活動は、

- 発表を通して表現の高まりを実感する (A 表現)
- 曲全体を再鑑賞して、発見した曲のよさや面白さ、美しさについてまとめる (B 鑑賞)

○題材のまとめを基に、題材全体の学びの振り返りをする

- できるようになったこと
- 分かったこと
- 今後生かしていきたいこと

問い

題材のまとめ

★音楽を形づくっている要素とその働きを関連付ける

音楽的な見方・考え方とは

「音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え」 → 音や音楽を捉える「視点」



「どんなふうに見えるのかな」「なぜ?」「どうして?」を明らかにしていく過程を経ることで捉えることができる

音楽を形づくっている要素とその働き

第一小学校の「まとめる」

本時の流れ

1 学習に臨む雰囲気をつくる。

- 本時の学習内容とつながるよう、前時までの取組を紹介したり、実際に演奏させたりする。

2 本時のめあてをつかむ。

- 前時や題材を通しての学びを想起させ、子供たちの気付きを基に、題材全体を振り返ることができるめあてを設定する。

【めあて】

3 まとめの発表や演奏等を行い、表現の高まりを共有・共感する。

- 児童生徒が表したい思いや意図をもち、それを実現するための知識及び技能を習得することの必要性を実感させる。
- 互いの表現を発表し合ったり、全体で共有し合ったりして、音楽表現を深めさせる。

4 学習のまとめをし、題材の学びを振り返る。

- 児童生徒に題材の学びを想起させ、音楽を形づくっている要素とその働きの視点等でまとめる。

学習のまとめ

- 題材全体のまとめを基に、できるようになったこと、分かったこと、今後生かしていきたいことなど、題材全体の学びの振り返りをさせる。
- 子供たちに振り返りの内容を発表するよう促す。
- 題材での学びの実感を共有・共感できたことを称賛する。

題材全体の振り返り

前時までの取組を紹介したあと、一緒にリズム打ちをする



呼びかけとこたえが繰り返
し使われているね。



実際にリズムを打ってみると、
繰り返しの面白さが分かるな。

他のグループはどんな工夫をしているのかな。
聴いてみたいな。



だんだん楽器が増えて、にぎやかに終わるところが面白いな。



なるほど、だんだんと人が集まってにぎやかになる教室の様子を表しているんだね。

音楽の仕組みをつかってリズムのつなげ方や重ね方を工夫すると、様子を伝えることができるんだな。

自分たちのイメージを音楽で伝えることができた！



身の周りの音楽にも、どんな音楽の仕組みが使われているか、知りたいな。

第一中学校の「まとめる」

本時の流れ

1 学習に臨む雰囲気をつくる。

- 本時の学習内容とつながるよう、前時までの取組を紹介したり、実際に演奏させたりする。

2 本時のめあてをつかむ。

- 前時や題材を通しての学びを想起させ、子供たちの気づきを基に、題材全体を振り返ることができるめあてを設定する。

【めあて】

3 まとめの発表や演奏等を行い、表現の高まりを共有・共感する。

- 児童生徒が表したい思いや意図をもち、それを実現するための知識及び技能を習得することの必要性を実感させる。
- 互いの表現を発表し合ったり、全体で共有し合ったりして、音楽表現を深めさせる。

4 学習のまとめをし、題材の学びを振り返る。

- 児童生徒に題材の学びを想起させ、音楽を形づくっている要素とその働きの視点等でまとめる。

学習のまとめ

- 題材全体のまとめを基に、できるようになったこと、分かったこと、今後生かしていきたいことなど、題材全体の学びの振り返りをさせる。
- 子供たちに振り返りの内容を発表するよう促す。
- 題材での学びの実感を共有・共感できたことを称賛する。

題材全体の振り返り

前時までの気づきを共有し、教材曲を鑑賞する



声の音色や強弱の変化に着目しながら聴くと、様子を具体的に想像できるのだったな。



聴き深めて見つけた作曲者の工夫を、紹介文にまとめるのだな。

みんなは作曲者のどんな工夫を見つけたのかな。
知りたいな。



子の旋律は次第に音が高くなり、激しく強く歌われているから…。



もう一度聴いてみたら、たしかに〇〇さんの気付いたとおりに聴こえるな。面白い。

作曲者の工夫に着目しながら再鑑賞することで、
新たな曲の魅力が発見できるな。

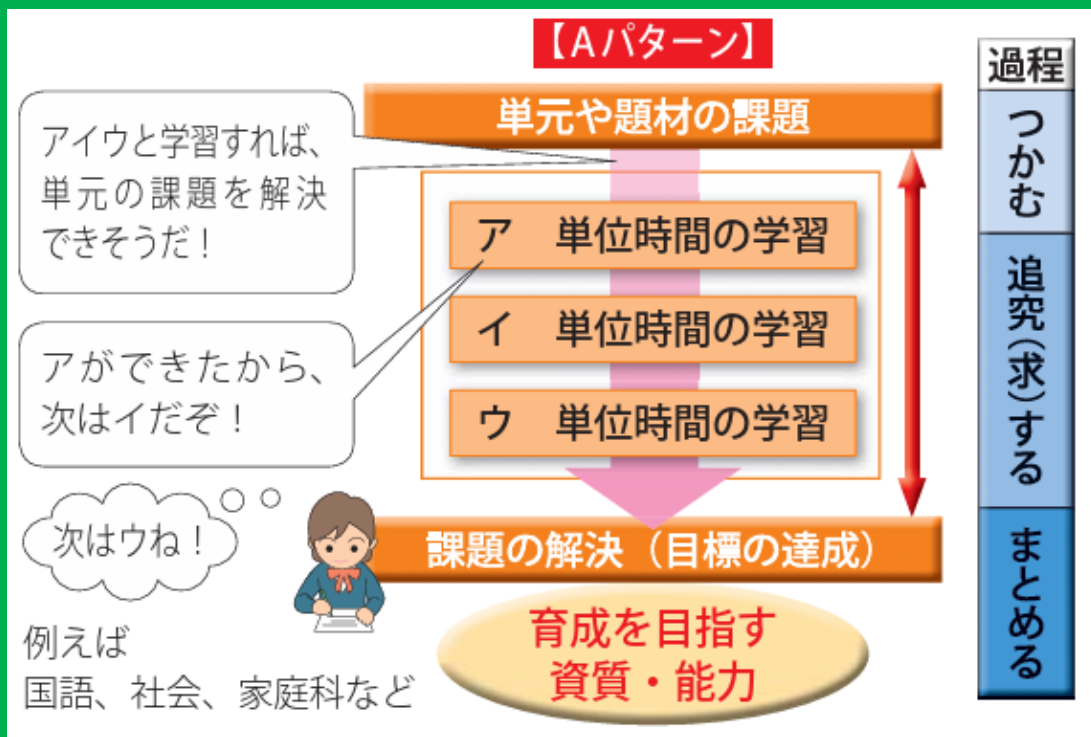
曲の魅力や面白さを、
発見して伝えることが
できた！



これからも作曲者の工夫
を見付けながら聴いてみ
たいな！

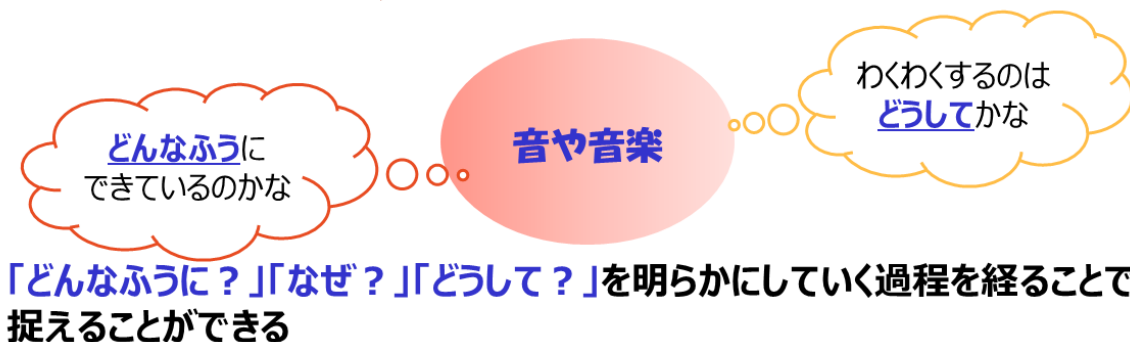
音楽科の題材のつくり方

「はばたくぐまの指導プランⅡ」の題材の課題と単位時間の関係



音楽的な見方・考え方とは

「音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え」 → 音や音楽を捉える「視点」



音楽を形づくっている要素とその働き

題材をつくる際には思考・判断・表現の拠り所となる、「音楽を形づくっている要素」を明確にして構成しましょう。

本題材の指導計画～第一小学校

思考・判断・表現のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素→ **音楽の仕組み**

時	学習活動	知	思	主
1	<ul style="list-style-type: none"> 6種類のリズムを手拍子で打ったり、即興的につなげたり重ねたりした時に生まれるよさや面白さを感じ取りながら、リズムアンサンブルのイメージを膨らませ、題材の課題を把握する。(あ) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 題材の課題 リズムの特徴や音楽の仕組みを生かして、自分たちのリズムアンサンブルをつくろう。 </div>	①		①
2	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちのリズムアンサンブルのイメージを話し合っで決め、イメージに合ったリズムを選択する。(あ) 	②	①	
3	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の仕組みを生かしたリズムのつなげ方や重ね方を工夫して、自分たちのイメージに合ったリズムアンサンブルをつくる。(あ) 	②	①	
4	<ul style="list-style-type: none"> 打楽器の音色や音の響きに着目し、自分たちのリズムアンサンブルのイメージに合う楽器を選択して演奏する。(あ) 	②	①	
5	<ul style="list-style-type: none"> 完成したリズムアンサンブルを互いに聴き合い、音楽の仕組みを生かしたリズムのつなげ方や重ね方のよさや面白さを発表し、題材全体の振り返りをする。(あ) 	②		

要素とその働きを聴き取る・感じ取る

要素の働きと感じ取ったイメージとを関連付けて追求する

実感を伴った理解

本題材の指導計画～第一中学校

思考・判断・表現のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素→ **音色、強弱
旋律**

時	学習活動	知	思	主
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌曲「魔王」を聴き、詩の内容や音楽から感受したイメージ、知覚した音楽の特徴など、気付いたことを伝え合い、題材の課題を把握する。(あ) (a) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 題材の課題 「魔王」の詩の内容を表すためにシューベルトがどのような作曲の工夫をしているかを探って、曲の魅力を伝え合おう。 </div>	①	①	①
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子の旋律と魔王の旋律を比較して聴き、詩の内容と音楽を形づくっている要素との関わりを視点として、作曲者が意図した表現の工夫について話し合う。(あ) (a) 		①	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「魔王」の魅力を紹介する文を書いて伝え合い、全曲を再鑑賞し、題材全体の振り返りをする。(あ) (a) (b) 		②	①

要素とその働きを聴き取る・感じ取る

要素の働きと感じ取ったイメージとを関連付けて追求する

実感を伴った理解

*活用する学習支援ソフト等：(あ) ロイロノート

*活用するコンテンツ等：(a) 「魔王」ドイツ語歌唱音源 (b) 「魔王」ドイツ語歌唱動画

題材構想と教材（曲）との関わり

重要! 資質・能力の育成を目指す題材構想の考え方（参考）

授業は、教材として用いた音楽について学習する（教材を学ぶ）だけではなく、その教材を用いた学習を通して資質・能力を身に付ける（教材を通して学ぶ）ものである。また、そこで身に付けた資質・能力は、生徒のその後の人生における音楽との関わりをより豊かに幅広くするものである。したがって、ある教材を用いた学習で身に付けた資質・能力は、他の音楽と関わる際にも活用できるものにすることを念頭に置いた指導を心がけたい。

【「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校芸術（音楽）p58】

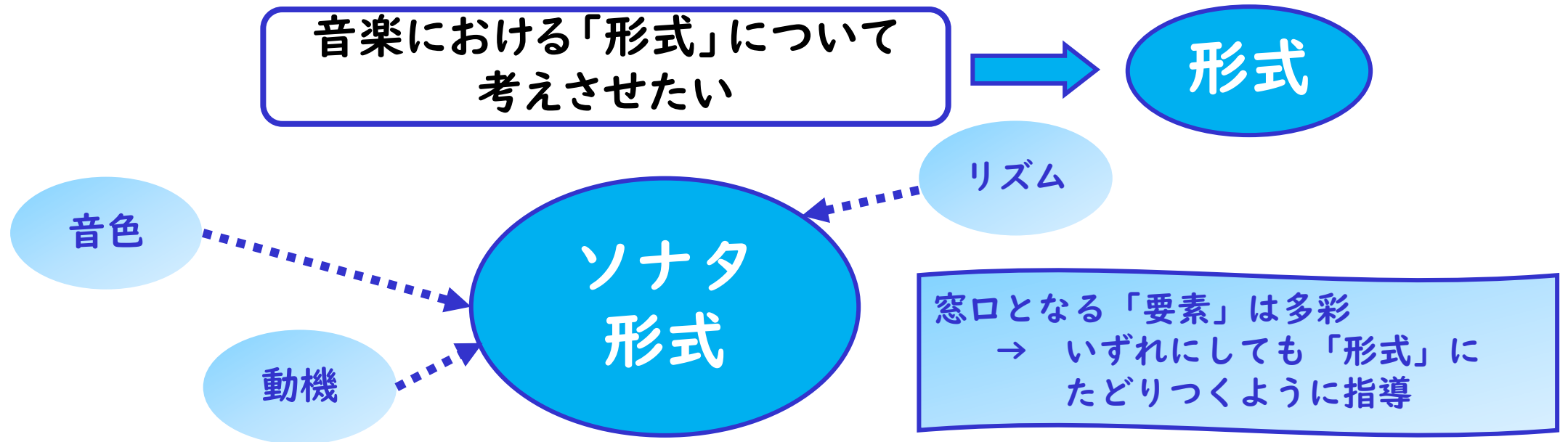
題材構想と教材（曲）との関わり

重要!

教材を学ぶ → 教材を通して学ぶ

【例】交響曲第5番「運命」（Lv.ベートーヴェン 作曲）の鑑賞
★曲の魅力は…

オーケストラの楽器の音色の特徴や、それらが重なったときの響きの多彩さ



3 授業改善のポイントを具現化するために

本日のまとめ

- 音楽を形づくっている要素を焦点化し、明確にして題材を構想する
- 言語活動と音楽活動とを往還させて、実感を伴った理解を促す

- 「音楽を形づくっている要素」を明確にした
題材構想について
- 音楽科の特性を生かした言語活動について

音楽科の特性を生かした言語活動

育成したい能力 創意工夫して音楽表現をする能力
音楽を味わって聴く能力



【例】

どのように音楽表現をしたいのかという思いや意図を言葉で表す。
音楽を聴いて価値などを考え、批評したりする学習活動を充実する。

「知覚」と「感受」

知覚

聴覚を中心とした感覚器官を通して音や音楽を判別し、意識すること

ある程度客観的に判別できるような特徴

感受

音や音楽の特質や雰囲気などを感じ、受け入れること

児童生徒一人一人の主観による

言葉で表すことによって、表現への思いや意図、曲や演奏の評価などを**共有・共感・自覚**することにつながる

なぜ、音や音楽で確認するのか



音楽活動を通して確かめる



※中学校「魔王」の鑑賞を例に

ピアノ伴奏は歌の部分と比べて速くなっている

本当に速度が速くなったことを知覚したのか

他の要素の働きによって速さを感じたのか

リズムの細かさから速さを感じるのか

音楽活動を通して確かめる過程そのものに学びの意味がある
音楽活動を通して確かめることで、**実感を伴った理解**を促す

なぜ、音や音楽で確認するのか

音楽活動を通して、知覚・感受したことや自分の考えなどを言葉で表す。

言語活動

音楽活動

言葉で表したことを、音楽活動によって確認する。

音楽活動を通して確かめる過程そのものに学びの意味がある
音楽活動を通して確かめることで、**実感**を伴った**理解**を促す

第一小学校の授業では…

音楽活動を通して、知覚・感受したことや自分の考えなどを言葉で表す。



言語活動

①みんなが帰ってさみしい感じを、一人ずつ減らしていく仕組みを使って表したらどうかな。

⑤減らしていく順番を変えてみたらどうかな。

②⑥試してみよう

音楽活動

言葉で表したことを、音楽活動によって確認する。

③あまりよく伝わらないね。最後に残るリズムが目立つからだね。

⑦最初と比べると、減っていく感じが伝わるようになったね。



第一中学校の授業では…

音楽活動を通して、知覚・感受したことや自分の考えなどを言葉で表す。



言語活動

①魔王の旋律は、子の旋律に比べると明るいね。優しく誘っている感じを伝えているのかな。

⑤最後の方は強く激しい音色に変わっているね。

②⑥聴いて確かめよう

音楽活動

言葉で表したことを、音楽活動によって確認する。

③確かにそのように聴こえるね。

⑦音色に変化を付けることで、魔王の様子を表しているんだね。



3 授業改善のポイントを具現化するために

本日のまとめ

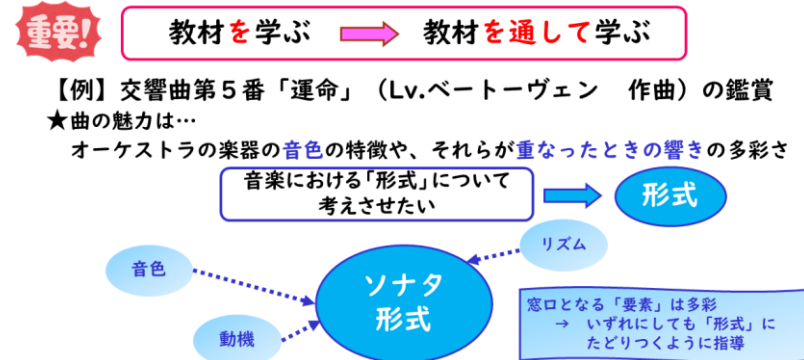
- 音楽を形づくっている要素を焦点化し、明確にして題材を構想する
- 言語活動と音楽活動とを往還させて、実感を伴った理解を促す

音楽科の題材のつくり方



題材をつくる際には思考・判断・表現の拠り所となる、「音楽を形づくっている要素」を明確にして構成しましょう。

題材構想と教材(曲)との関わり



なぜ、音や音楽で確認するのか

